

人に学び・物に学び・自然に学ぶ



# 三室中だより

《学校教育目標》 令和6年度第6号 令和6年9月25日(水)発行  
自ら学ぶ生徒の育成 心豊かな生徒の育成 健康でたくましい生徒の育成

さいたま市立三室中学校

〒336-0912

ばんぼ

さいたま市緑区馬場1-38-2

学校 048-874-2331

FAX 048-810-1125

相談室 048-876-1731

<http://mimuro-j.saitama-city.ed.jp>

## 突き抜けて 天上の紺 まんじゅしゃげ 曼珠沙華

校長 廣江 剛

上記は、京都府出身の有名な俳人山口誓子の俳句です。意味は、「秋の澄んだ青空が突き抜けるように高い。鮮やかな深い紺色の下には、真っ赤な花をつけたたくさんの曼珠沙華が、背を伸ばして咲いている。」といったところでしょうか。空の青と曼珠沙華の赤、反する二色がお互いの美しさを引き立たせています。曼珠沙華は別名彼岸花と呼ばれ、その名の通り、9月20日前後のお彼岸頃に満開を迎える花です。埼玉県日高市の「巾着田」の曼珠沙華の群生は大変有名で、息を飲むほどの美しさです。私も何度も足を運びました。しかし、今年は酷暑のため、お彼岸近くなっても曼珠沙華が一向に咲かないとテレビのニュースで報道されていました。10月を迎えた今が見頃でしょうか。そういえば、5月に植えた我が家の朝顔も、夏になっても一向に咲かず、9月中旬になってようやく咲き始めたところです。



スクリレのカラーで見ると青と赤のコントラストが美しいです

季節の感覚や生態が昔と変わってきているのは、植物だけではありません。近年、日本各地の名産の魚が急激に減少しているそうです。例えば、東北の岩手の「サケ」の漁獲量は10年前の46分の1にまで減少しています。北陸の富山のブランド魚でもある「氷見の寒ブリ」は4分の1に、九州の長崎でよくとれていた「サワラ」は2分の1に減少しています。その一方でこれまで地域で馴染みのなかった魚が水揚げされる事例も報告されています。北海道では、これまで長崎や島根など南の方で多く獲られてきたブリの漁獲量が10年前の6倍以上に増えています。さらに、かつては主に西日本で親しまれていた「タチウオ」が東北の宮城で500倍にまで増えています。地球温暖化の影響で、魚たちも自分たちがより住みやすい水温の地域に移動しているのでしょうか。(参考資料『NHK みんなでプラス』)

さて、9月14日(土)本校では、競技種目の精選やあらゆる熱中症対策を講じて、体育祭を行いました。暑さ指数を毎日正確に測りながら、練習を中止せざるを得ない日もたくさんありましたが、体育祭当日、今年初めて全生徒席にテントを設置しました。これがとても効果的で昨年よりもかなり日差しが強かったにも関わらず、怪我人や具合が悪くなった生徒が大幅に減少し、安堵しました。テントを貸していただいた、城北中学校、原山中学校、芝原小学校に深く感謝いたします。そして、テントの設置と片付けに協力いただいた保護者ボランティアの皆様にも心から御礼申し上げます。生徒も暑さに負けない根性と気合いを見せてくれたと思います。閉会式の最後に歌った全力の校歌斉唱がそれを物語っていました。本当に素晴らしい生徒達です。

しかし、気候的に9月の体育祭は本校ではもう限界と考えています。来年は、合唱祭を9月17日(水)レイボックホールにて開催。体育祭を10月下旬～11月上旬の方向で調整を進めています。植物も魚も生態を変化させていく中、学校も時代に合った変化や工夫をしていかなければなりません。